

令和7年度事業報告

(自：令和7年4月1日 至：令和8年3月31日)

公益財団法人ホシザキグリーン財団

令和7年度 公益財団法人ホシザキグリーン財団 事業報告

(自：令和7年4月1日 至：令和8年3月31日)

【概要】

人と自然の調和した自然環境の保全に資することを目的とし、野生動植物の保護繁殖に関する各事業に取り組んだ。実施した主な事業は次のとおりである。

I. 事業部門

1. 野生生物研究所事業 (定款第4条 第1項 第1、3、5号該当事業)

- (1) 調査研究・情報収集発信事業を中心に、宍道湖グリーンパークやふるさと尺の内公園の環境整備の検討のほか、各種の普及啓発活動も含めた財団の幅広い事業を支えるべく運営を行った。
- (2) 調査研究や普及啓発事業に必要な資料(文献・標本等)の収集・保存、それらを活用するための整理など活動基盤を維持する拠点として運営を行った。
- (3) 標本室と図書室の温度や湿度などを管理した。
- (4) 野生生物研究所の実習室を、宍道湖グリーンパークの団体対応や観察会などの室内プログラムの実施場所の一つとして運用した(年間59件、のべ3,148人)。
- (5) 公益財団法人しまね自然と環境財団および公益財団法人しまね海洋館と「島根県環境教育ワーキングネット研修」を共催し、講演会会場として研究所実習室を提供した(5/21、1/23)。

2. 宍道湖グリーンパーク事業 (定款第4条 第1項 第2、3号該当事業)

- (1) ビオトープならびに公園施設として宍道湖グリーンパークおよびビオトープ池の適切な管理を行った。
- (2) 園内の維持管理は昆虫や野鳥など野生動植物の生息に配慮して実施し、除草・剪定作業による発生材の一部は小動物のすみかとするべく、木積や腐葉土として利用した。
- (3) 園内のゾーニングプランに基づき、各ゾーンの維持管理を行った。
- (4) 野鳥観察舎や園内に鳥類や昆虫類、植物などの解説を掲示し、フィールド情報を時節にあわせて更新するなどの掲示物の管理を行った。
- (5) 野鳥観察舎において、捕虫網や双眼鏡の貸出、季節の生物のぬりえの配布などのサービスを実施した。
- (6) 野鳥観察舎の企画展コーナーにおいて、企画展以外の期間も時節にあわせた自然に関する展示の切り替えを行った。
- (7) ペンギンミュージアム(2,000点以上のペンギングッズを展示)の管理を行い、今後の展示更新についても検討を開始した。
- (8) ビオトープ池において、水鳥の飛来時期に合わせた水位調節を実施した。
- (9) 白鳥の採食場として、グリーンパーク周辺農地約10haに地権者の協力を得て水を張り、

飛来環境の整備を実施した。

- (10) 公園内について、地域生物多様性増進法による「自然共生サイト」に登録を申請し、環境省より認定された (R8. 3. 17 付)。
- (11) 野鳥観察舎等で年間 81, 154 人の利用者があった (開園より 982, 265 人)。
- (12) 団体等の利用申し込みは 218 件 (のべ 5, 835 人) であり、そのうち野鳥観察などのプログラムやレクチャーを伴う体験活動は年間 80 件 (のべ 2, 941 人)、施設の見学などの利用が 138 件 (のべ 2, 894 人) であった。

3. ふるさと尺の内公園事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 2、3 号該当事業)

- (1) ビオトープならびに公園施設として尺の内公園の適切な管理を行った。
- (2) 園内のさらなる魅力向上として取り組んでいる環境整備について、ランドスケープデザイナーのポール・スミザー氏の監修に基づいた植栽の追加や維持管理を行った。
- (3) 園内の樹木は、適切な間隔に保つために剪定や伐採を行い、法面では繁茂したタケを伐採した。これによる発生材の一部は木積にして小動物の生息場所や、チップ化して腐葉土にすることで土壌動物の生息に供した。
- (4) 園内の人工池を活用してオニバスの系統保護のための試験やモニタリング等を継続した。
- (5) アメリカザリガニやキシノウズなど園内にすむ侵略的外来種の回収を行い、在来生物への影響の低減を図った。
- (6) 園内の池に発生する藻類の回収を行うなどして水質の維持を行った。
- (7) 園内でバーク堆肥を作り、植栽場所の肥料やマルチング材として使用した。
- (8) 管理棟の草屋根に植栽した多年草の在来植物を維持する管理をした。
- (9) 季節変化や花の時期に合わせて種名板を更新した。
- (10) 乾燥裸地のビオトープとして整備した隣接地の環境を維持した。
- (11) 公園に隣接する丘陵地に植栽したクヌギや草地環境を維持するための管理を行った。また、管理道を含む道路の草刈りや倒木の除去、側溝の清掃などを行った。
- (12) 里山林として維持するため、林内の植生の変化などを継続的に観察し、検討を行った。
- (13) 公園内について、地域生物多様性増進法による「自然共生サイト」に登録を申請し、環境省より認定された (R8. 3. 17 付)。

4. 調査研究事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 1、2 号該当事業)

- (1) 職員による自主研究を次の課題で取り組んだ。

〈鳥類研究〉

- ① 鳥類の環境利用特性の研究
- ② マガン・ヒシクイ・コハクチョウの日周行動特性の研究
- ③ 特定鳥類の生息状況調査 (しまねレッドデータブック掲載種、県内繁殖情報不足種、注目種等)
- ④ 尺の内公園の鳥類調査
- ⑤ グリーンパークの鳥類調査
- ⑥ 鳥類生息情報の集積

- ⑦ カモ科鳥類カウント調査
- ⑧ 白鳥の採食場の利用状況モニタリング
- ⑨ ビオトープ池の鳥類調査

〈昆虫類研究〉

- ① ネクイハムシ亜科の進化生物学的研究
- ② 日本産水生甲虫類の分類学的研究
- ③ 島根県の水生昆虫類の保全生物学的研究
- ④ 山陰の海岸に生息する昆虫類や節足動物に関する研究
- ⑤ 島根県産昆虫目録作成のための基礎調査
- ⑥ グリーンパーク昆虫類調査
- ⑦ 尺の内公園の昆虫類調査

〈植物研究〉

- ① 島根県産植物の調査ならびに染色体観察
- ② 特定植物種の産地や形態に関する調査と染色体観察
- ③ 特定植物種の分類学的研究
- ④ オニバスの保護増殖に係る生育調査
- ⑤ 尺の内公園の植物調査
- ⑥ 絶滅危惧植物の生育環境に関する実験調査

〈その他〉

- ① 島根県の淡水・汽水生物の調査
 - ② ビオトープ池の生物調査
 - ③ 島根県の水生生物の遺伝的多様性の調査
- (2) 共同研究として「ブナ科果実を利用する昆虫に関する研究」「隠岐固有両生類 2 種の環境 RNA 手法の開発と生息実態の解明」「カシノナガキクイムシの分布拡大に関する研究」「昆虫や水生生物を対象とした生態学的・行動学的研究」の 4 課題を実施した。
- (3) 調査協力として、環境省が実施しているモニタリングサイト 1000 などの全国的な生物調査（鳥類・水草）や島根県より外来生物（昆虫・クモ）の同定依頼などに協力した。
- (4) 委託研究として「中海周辺におけるガン・ハクチョウ類の採食分布調査」「隠岐産鳥類および昆虫類リスト作成のための基礎調査」「島根県産水生昆虫類の保全生態学的研究」など 7 課題を委託して実施した。
- (5) 環境修復・地域貢献プロジェクト事業に関する調査研究として、汽水を活用したシラウオ増産技術の開発に取り組んだ。
- (6) 環境修復・地域貢献プロジェクト事業に関する調査研究として、島根県沿岸の藻場の現況、県内河川の魚道の状況について、専門業者に委託して調査を実施した。
- (7) 地域的な課題に関する調査研究として、宍道湖流入河川におけるナガエツルノゲイトウの生育状況について、専門業者に委託して調査を実施した。また、宍道湖グリーンパークに隣接した湖岸で確認されたナガエツルノゲイトウについて、駆除を実施した。
- (8) 研究体制を維持するため 6 名の客員研究員を委嘱した。

- (9) 財団の研究報告書をはじめ、他団体発行誌に 30 題の研究論文や短報などを発表した。
- (10) 学会や研修会等で 14 題の発表を行った。
- (11) 「ホシザキグリーン財団研究報告 第 29 号」を発行した(論文 20 題、短報 15 題、資料 5 題; 330 頁)。
- (12) 「ホシザキグリーン財団研究報告 特別号」を発行した。
 - ・第 35 号 在来の多年草植物を利用した植栽整備：ふるさと尺の内公園における植栽方法と実践の記録 (72 頁)
 - ・第 36 号 DNA を用いた島根県産生物の研究 III (128 頁)

5. 普及啓発事業 (定款第 4 条 第 1 項 第 4 号該当事業)

- (1) 宍道湖グリーンパークで以下の企画を実施した。

①自然観察会やイベント

- ・定例観察会を 11 回開催した。
- ・日曜午後に短時間の自然ガイド「グリーンパーク生きものちょこっとガイド」を 30 回実施した。
- ・春の大型連休イベントとして「おや?そのとりちょっとへん?ちがうのど〜こだ!(オリジナルステッカー配布)」、「園内おさんぽクイズ」などを実施した(4/26-29, 5/1-6)。
- ・宍道湖グリーンパーク開園記念月関連企画として「グリーンパーク生き物スタンプフェスタ(オリジナルスタンプ帳配布)」を実施した(6/1-30)。
- ・「宍道湖グリーンパークでマガン・コハクチョウの初渡来日を予想しよう!2025(オリジナルクリアファイルプレゼント)」企画を実施した(9/1-29)。
- ・夜間開園イベント「ナイトグリーンパーク」を実施した(10/18, 25)。
- ・宍道湖・中海 ラムサール条約登録 20 周年記念イベントとして「グリーンパークで 2026 年オリジナルスケジュール手帳をつくろう」を実施した(11/1-3)。
- ・お正月先着プレゼント(オリジナルすごろく 2 種)企画を実施した(1/2-5)。
- ・世界湿地の日になんだ工作企画として「2月2日は世界湿地の日 宍道湖のめぐみ工作を楽しもう」を実施した(2/21-23)。
- ・宍道湖自然館だんだんまつり開催にあわせて「出張!生きものちょこっとガイド(だんだんまつり 2026 への出展)」を実施した(3/14-15)。
- ・3月の連休にあわせて、「ビンゴ de バードウォッチング(野鳥缶バッジ等をプレゼント)」を実施した(3/20-22)。
- ・宍道湖グリーンパークへの来園促進のため、宍道湖自然館来館者を対象としたイベントを実施した。

夏期は宍道湖自然館の特別展と宍道湖グリーンパークの企画展の会場にて、クイズに答えるとキラキラシールがもらえるクイズラリーイベントを実施した。(7/16-9/1)。
冬期は宍道湖自然館と宍道湖グリーンパークにて開催した宍道湖・中海ラムサール条約登録 20 周年記念展示を結び、シールを 4 枚あつめた方にシールシートをプレゼントするイベントを実施した。(11/19-1/12)。

②企画展

- ・野鳥観察舎で夏の企画展「しまねのアメンボ」を開催した(7/16-9/1)。
- ・夏休みの自由研究などに利用できる「アメンボ研究ノート(B5)とクリアファイル」セットを各日数量限定で配布した(7/16-9/1)。
- ・アメンボについて研究員が解説するミニ講演会を開催した(7/21)。
- ・野鳥観察舎で冬の企画展「みんなの宝物 宍道湖・中海展」を開催した(11/19-1/12)。
- ・ぬりえやすごろくなどの遊びをとおして、宍道湖・中海の自然やラムサール条約について学べる「宍道湖・中海あそんでまなブック」を各日数量限定で配布した(11/19-1/12)。
- ・企画展関連イベント「宍道湖岸の自然であそぼう」を開催した(12/6-7)。

③主な季節展示

- ・野鳥観察舎に企画展がない時期にも、以下のまとまった展示更新を実施した。
「初夏の園内さんぽ・ツバメ」(5/28-7/14)
「宍道湖周辺のガンとハクチョウ」(9/3-11/17)
ナイトグリーンパーク関連ミニ展示「のぞいてみよう！夜の生きものたち」(10/8-27)
「世界湿地の日」(1/14-3/9)
「春を彩る生きものたち」(3/11-5/25 継続予定)

④各種協力

- ・令和7年度愛鳥週間用ポスター図案コンクール入賞作品の展示会場として野鳥観察舎にコーナーを設けた(4/26-5/18)。
- ・宍道湖沿線ファミリー月間2025スタンプラリーへ協力した(10/1-31)。
- ・わくわく体験講座「冬の水鳥を見に行こう(島根県立青少年の家との連携事業)」(11/30)を実施した。
- ・宍道湖水環境改善協議会「宍道湖絵画コンクール」作品の展示会場として野鳥観察舎にコーナーを設けた(1/15-3/9)。
- ・施設間の相互協力として、米子水鳥公園との共同企画「世界湿地の日企画 中海・宍道湖野鳥総選挙2026(参加者に野鳥はがきプレゼント)」を実施した(2/1-28)。

⑤その他

- ・グリーンパーク利用者(主に団体)の申し込みに応じて観察プログラム等の対応をした(年間80回、のべ2,941人)。
- ・パークボランティア(14名)を登録し、観察会の企画実施のほか、イベントや園内の作業補助などに関わった。
- ・パークボランティアの連絡誌を発行(60-63号)したほか、研修旅行(3/2)を実施した。

(2) ふるさと尺の内公園で以下の企画を実施した。

①自然観察会やイベント

- ・定例自然観察会を10回開催した。
- ・地元小学校等の希望に応じて自然観察等の対応をした(年間2回、38人)。

(3) 野生生物研究所関係で以下の企画を実施した。

①普及用の発行物等

- ・ニューズレター「HOWP」を発行（78-81号）し、自然情報等の発信に努めた。

②研究報告会の開催

- ・野生生物研究所、地域貢献プロジェクトおよび自然館職員による研究報告を行った。
（2/24・3/1；くにびきメッセ（松江市））

(4) ホームページ

- ・ホームページならびにソーシャルネットワーキングサービスを運用し、自然情報およびイベント開催の発信を行った。

(5) その他

- ・宍道湖グリーンパーク&ゴビウス ラムサール探偵団としてプログラムを実施(6/7, 7/5, 9/6, 11/15, 12/20)したほか、活動内容を紹介する冊子を発行した。
- ・ラムサール探偵団参加者に呼びかけて、島根県・鳥取県が主催する「中海・宍道湖ラムサール条約20周年フェスタ〜わくわく体感DAY〜」(11/16)、「令和7年度子どもラムサール交流会」(11/29-30)に協力した。
- ・自然環境学習「子ども探検スクール(中海・宍道湖・大山圏域市長会主催)」(1/17)において宍道湖グリーンパーク等でガイドを行った。
- ・学校や地方公共団体等が主催する観察会や研修会等に講師を派遣した（年間5回）。

6. 情報収集発信事業（定款第4条 第1項 第1、4、5号該当事業）

(1) 文献、標本、写真、映像などの資料収集・整理につとめた。

- ・文献は、購入369冊、寄贈・交換1007冊、計1376冊を取得した。

(2) 鳥類等の観察情報について職員の記録や宍道湖グリーンパークに寄せられる情報をデータベースに入力した。

7. 農業、林業、畜産業、水産業の持続的な発展に寄与する事業（定款第4条 第1項 5号該当事業）

(1) 宍道湖で過剰繁茂する水草類の除去に対する支援事業

- ・島根県、宍道湖漁業協同組合、財団の3者で宍道湖に過剰に繁茂する水草の除去対策について協定を締結し、宍道湖漁業協同組合に対して藻刈船1艘を寄贈するための手続きを進めた。

(2) 島根県沿岸域の藻場回復に対する支援事業

- ・島根県が実施する藻場礁設置に協力するため、令和8年度の実施計画への参画について、島根県との協議を進めた。

(3) 次世代に繋がる持続可能な畜産振興モデル支援事業

- ・(株)熟豊ファーム、島根県と連携し、令和8年度から5年間で、繁殖和牛30頭以上を飼育する新たな畜産経営者を10経営体以上創出する計画について、準備を進めた。

(4) 持続可能な農林業の実現に向けた支援事業

- ・島根県、島根県立農林大学校と連携し、同学校に配備するスマート農業・林業機器の整備

を支援することで、将来の農林業を支える人材の育成ならびに中心経営体への発展に寄与するため、必要な機材の調整を進めた。

(5) 森林再生の実現に向けた獣被害対策支援事業

- ・令和8年度から令和9年度において、島根県内で増加するニホンジカによる新たな防護技術の実証事業を支援し、あわせて令和9年度以降は、その実証結果を踏まえた防護対策の普及促進を支援するための準備を進めた。

8. 地方公共団体からの受託事業（定款第4条 第1項 1、3、4号該当事業）

(1) 島根県立宍道湖自然館管理運営業務（指定管理、主管課：島根県水産課）

宍道湖自然館ゴビウスの管理運営を行い、普及啓発や調査研究などの各種事業を実施した。詳細は別資料（宍道湖自然館館報 No. 25）。

(2) 自然環境調査研究業務（委託：出雲市）

出雲市内のため池（12カ所）の水生动植物の調査を行ったほか、3カ所での環境DNA分析を実施した。小冊子「出雲市のため池の生きものたち～ため池の自然環境調査と環境DNA分析～」(28頁)を作成した。

(3) ガン・カモ類生息調査業務（委託：島根県森林整備課）

宍道湖、中海、神西湖、高津川、蟠竜湖でカモ科鳥類の個体数調査を実施した（1/11）。

(4) しまねレッドデータブック改訂業務（委託：島根県自然環境課）

しまねレッドデータブックの改訂のため、委託された分類群について、改訂委員と協議しながら、原稿依頼やその内容確認を行った。

II. 管理部門

1. 監査

令和7年5月1日に、高橋良昌監事、中村真実子監事により令和6年度一般会計および業務の監査を受け、会計および業務とも適正と認められた。

2. 理事会

令和7年4月16日 第1回理事会

- ・副理事長（代表理事）選定の件

令和7年4月28日 第2回理事会

- ・定款の一部変更について
- ・令和7年度臨時評議員会（第2回）の開催について

令和7年5月19日 第3回理事会

- ・令和6年度事業報告（案）の承認について
- ・令和6年度決算報告書（案）の承認について
- ・定時評議員会開催および開催日時について

令和7年6月9日 第4回理事会

- ・令和6年度事業報告について報告
- ・令和6年度決算報告について報告

令和7年7月30日 第5回理事会

- ・公益法人変更認定申請の提出について

令和7年10月7日 第6回理事会

- ・公益法人変更認定申請の提出について

令和8年1月20日 第7回理事会

- ・理事の辞任と理事候補者（案）の承認について
- ・令和7年度臨時評議員会（第4回）の開催について

令和8年2月13日 第8回理事会

- ・常務理事（事務局長）選定の件

令和8年3月6日 第9回理事会

- ・令和7年度収支予算変更の承認について
- ・令和8年度事業計画、収支予算の承認について

令和8年3月13日 第10回理事会

- ・ホシザキ株式会社第80期株主総会議案の賛否について
- ・坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社の株主総会議案の賛否について

3. 評議員会

令和7年4月7日 臨時評議員会(第1回)

- ・理事の辞任とその補充選任について

令和7年5月12日 臨時評議員会(第2回)

- ・定款の一部変更について

令和7年6月9日 定時評議員会(第3回)

- ・令和6年度事業報告について
- ・令和6年度決算報告について

令和8年2月1日 臨時評議員会(第4回)

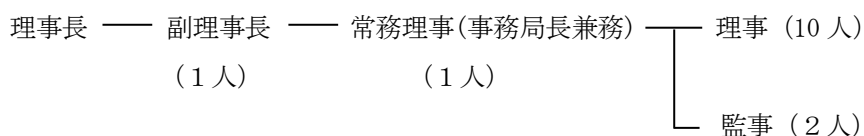
- ・理事の辞任とその補充選任について

【組織】

理事長以下理事12名、監事2名、評議員6名、職員38名で管理運営にあたった。

(令和8年3月31日現在)

(1) 役員



(2) 評議員

評議員(6人)

(3) 職員

